



■東京文化会館/安井誠一郎都知事起草



■西洋美術館(コルビジェ設計)世界遺産

■2026年4/17-24迄 上野の東京都美術館にて第75回流形美術会公募展が開催されました。今年で100周年の東京都美術館は東京文化会館の設計や西洋美術館(コルビジェ設計)を実施設計した巨匠 前川國男1975年設計の美術館です。右側は『ワイエス展』が開催されている企画展棟、左側は公募展棟で周囲との環境共生のため高さを抑え地階にエントランスが設けられています。外装は地震対策としての打込タイル。



75TH. RYUKEIKAI ART EXHIBITION 2026

東京都美術館公募展 特賞 受賞

安井敏夫

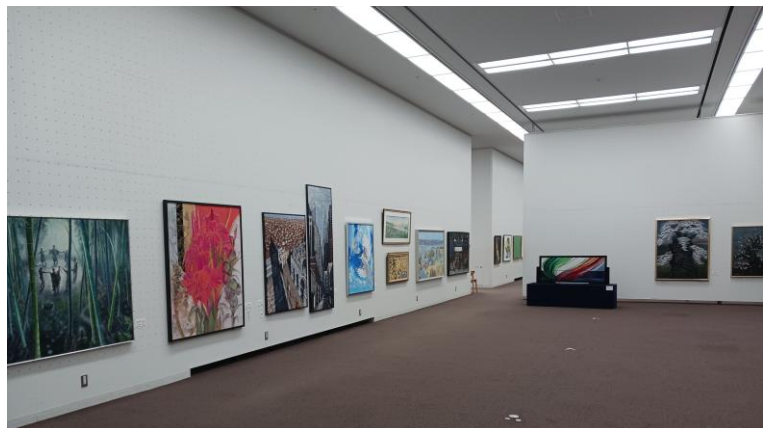
REPORT



第75回 公募 2026
流形展
●絵画 ●立体/工芸 ●写真
2026年
4月17日(金)～4月24日(金)
休館日 4月20日(月)
入場は9:30～17:00まで
(最終入場 4月24日 15:00迄)
上野公園内
東京都美術館
ロビー・階廊3階東側
ご招待状
※観覧は無料です。観覧券は不要です。
※1階には「ワイエス展」が開催されています。
主催 流形美術会 後援 文部科学大臣賞・東京都知事賞
〒112-8601 東京都文京区上野3-1-1 東京都美術館
TEL 03-3822-5577 FAX 03-3822-5578
ホームページ: www.tokyo-museum.jp

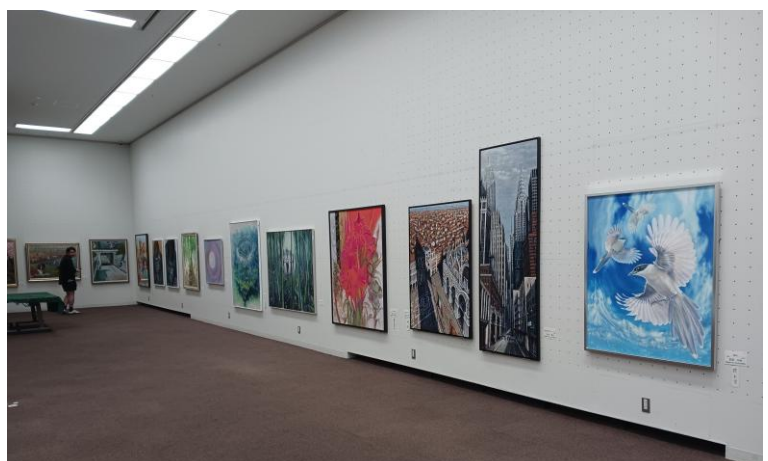
■出品総数184点
来場総数2500名

■ロビー奥側の受付を経て第1室には入賞作を中心に100号程の大型絵画作品が展示されています。以下第2室/3室は中小絵画作品、第4室は立体工芸作品、第5室は写真作品という構成になっています



■今年も2基組の大作2点を出品しました。
右/混迷の摩天楼 中/光と影の記憶 特賞

左/生命の循環・文部科学大臣賞の日本画



■混迷の摩天楼 ニューヨーク 750x2000
1930年代 権威=高さを競うようにアメリカ繁栄期象徴
のエンパイアステートビル447mとクライスラービル
317m等の摩天楼群と混迷期のカーテンウォールビルな
ど現代と過去の様相を対比的に表現した意欲作です



75TH. RYUKEIKAI ART EXHIBITION 2026

■光と影の記憶 ベネチア 1000x1500
「光は強ければ影もより深くなる/ゲーテ」
ベネチアは海運貿易で1300年に亘る繁栄・光と
衰退・影という対比の歴史を辿ります
サンマルコ広場を中心に寺院や街並を鐘塔からの
俯瞰で描き広場に落とす影は心の機微を比喩的に
表現し、お陰様で特賞を頂きました



■伝統的なレンガ造ビルと空を切り裂くようなスカイスクレーパー群/パークアベニューからの遠景
■ナポレオン曰く世界で一番美しい広場と云われるサンマルコ広場と車が通行不可の迷路状の街並/鐘塔からの俯瞰



■講評会や表彰式では審査委員長・勅使河原氏/美術評論家から両作共「その場の生活や時間など空気感・臨場感が的確に表現されている」などの好評価コメントを頂き今後に繋がるモチベーションになりました。また来展者対象の「私が選ぶ1等賞」でも昨年に続き1位に選ばれました約一週間の開催中、積朋会メンバーをはじめ連日多数の方々に熱心にご高覧頂き温かい応援も頂戴し感謝いっぱいです

■ご自宅の設計からのご縁で毎回あたたかいご支援を頂いている顧客のファミリー



■積朋会の皆様 /敬称略 左端より戸津川(ご友人) 安井



■積朋会の皆様/敬称略 左端より山崎 (平野) 瀬上 安井 (白尾) 木村

■其他来展の皆様/敬称略

青木
鵜飼
鈴木(俊)
鈴木(健)
畑野
佐藤(芳)
小島
太田
飯島ファミリー

多忙の中ご高覧頂き有難うございました

75TH. RYUKEIKAI ART EXHIBITION 2026